



# 広報 **えびな**

編集・発行  
海老名市役所 市長室  
〒243-0492  
神奈川県海老名市勝瀬175番地の1  
☎(046)231-2111 / ㊚(046)233-9118  
URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>  
\*この広報は再生紙を使用しています。

## 中学校の「注文弁当方式」試行開始

—— 1月26日今泉中学校で好評スタート ——

### 平成17年度から 市内全中学校で

問 学校教育課



同校1階にある昇降口で、午前8時から25分間、業者が生徒からの注文を受け付けます(写真左)。メニューは幕の内弁当風の「日替わり弁当」(400円)、トンカツやハンバーグなど若者に好評のおかずを主体にした「スペシャル弁当」(350円)、ピーフとチキンが日によって選べる「カレー弁当」(350円)の3種類が用意されています。食券にクラスと名前を記入し(写真下)、代金と引き換えに半券が渡されて注文は完了。



今泉中学校で試行が始まった「注文弁当方式」。どのようになっただろうか。

### 注文から容器返却まで

本市の中学校は、お弁当を持参する「弁当方式」とっていますが、さまざまな事情でお弁当を持参できない場合、補完する方策として「注文弁当方式」が平成17年度から市内中学校で実施されることになり、1月下旬から今泉中学校で試行が始まりました。今回はその様子をお伝えします。



お昼の時間になったら、注文を受けた場所がお弁当引換所となり、半券とお弁当を引き換え、自分の教室に戻って食事になります。生徒からは「いつもと違った味を楽しめるので良いと思う」、「から揚げがおいしかった。おかずの予定を見るのが楽しみ」などの声も。

### 社会情勢の変化や多様化するニーズに対応

本市の学校給食は、昭和48年に小・中学校全校で実施されました。しかし、あまりにも食べ残しが多かったことや、生徒数の増加に伴う施設面での対応が困難になったことなどから、検討を重ねた結果、中学校は昭和56年に現行の弁当方式となりました。お弁当を家庭で用意することは、子どもたちにとって、作ってもらおう親への感謝の気持ちの再認識や、子どもたち自らが弁当を作ったり、親子で協力して作るといった体験から家族の「きずな」が強まるという利点も注目されています。しかしながら、社会情勢の変化や、多様化するニーズに対応する手段のひとつとして、今回の注文弁当方式を採用することになりました。「お弁当を作らなければいけないのに、今朝は体調がすぐれない」といった保護者などの急病時や「お弁当もいけど、たまには他のものも食べたいな」といった子どもたちの声にもこたえることが可能です。市では、今回の今泉中学校での試行を経て、平成17年度から市内中学校の6校すべてで本格実施していきます。



試行開始の1月26日は「おためし期間」ということもあり、全校生徒の約半分が利用。多くの生徒から「毎朝お弁当作りで母さんが大変だから、時々は利用しようと思っっています」という親を思いやる意見も聞かれました。

食べ終わった容器はお弁当を受け取った引換所で返却します。もちろん、割りばしとしようゆ・ソースのスラ(容器包装プラスチック)は分別します。

